



えどがわ

予算特集号

新年度予算の主な新規
・拡充事業⇒2・3面
数字で見る平成30年度
予算⇒4面

発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎3652-1151(代表) ☎3652-1109 🌐https://www.city.edogawa.tokyo.jp/

～地域の力を結集し未来に誇れる江戸川区へ～

区民の暮らしを力強く支える施策を推進

4月からの1年間に区が行う事業と、その経費を定めた30年度の予算が決まりました。新年度予算の内容について、特集で紹介します。
☎財政課 ☎5662-6148

江戸川区の予算規模

区分	30年度当初予算	29年度当初予算	増減率	
一般会計	2441億4283万4千円	2403億3164万円	1.6%	
特別会計	国民健康保険事業	654億9195万7千円	809億1350万7千円	△19.1%
	介護保険事業	425億6万9千円	396億7399万6千円	7.1%
	後期高齢者医療	126億1813万4千円	119億350万円	6.0%
合計	3647億5299万4千円	3728億2264万3千円	△2.2%	



さわやか体育祭

明るい未来に向かって子どもたちを応援！

平成30年度 重点施策

●子育て支援策の充実

- ◆児童相談所の建設
- ◆待機児童対策の拡充
- ◆子どもの成長支援

●高齢・障害者福祉の拡充

- ◆地域包括ケアシステムの充実
- ◆口腔ケア健診の実施

●まちづくりの推進

- ◆平井五丁目駅前地区市街地再開発

●災害対策の強化

- ◆木造住宅除去費用助成・空き家耐震化助成

●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

- ◆ホストタウン事業などによる気運醸成
- ◆新左近川親水公園水上スポーツ施設整備



江戸川区長 多田正見

時代の要請を見極め
夢と希望に満ちた地域社会を実現

これまで本区は、不断の行財政改革により、強固な財政基盤の構築に努め、時代の変化とともに増大する行政需要への対応と、将来世代への負担を最小限にとどめる健全財政の両立を図ってまいりました。しかし、税制改正の影響を受けやすい歳入構造、待機児童対策をはじめとする数多くの歳出需要など引き続き予断を許さない状況が続いています。

今後さらに多様化するニーズに対応していくためには、限られた財源を計画的かつ効果的に活用していくことが必要です。そのために、山積する課題に対しては丁寧な検討を重ねるとともに、時機を逸することなく確かな施策を展開してまいります。

今年度は、高齢化への対応や子育て支援をはじめ、区民福祉の向上に重点的に取り組んでいく予算編成を行いました。また、地域包括ケアシステムの構築やまちづくり事業など、区民の皆さんと築き上げてきた地域力を礎に、本区の持続的成長に結びつく取り組みを総合的に進めてまいります。

そして、東京2020オリンピック競技大会の準備を着実に進めていくことで、スポーツの振興や文化の発展につながるのと同時に、国内外都市との交流を深め、区の魅力をより一層高める事業に果敢に挑戦していきたいと考えております。

これからも区民の皆さんと力を合わせ、区政を取り巻くさまざまな課題の解決に取り組むことで、夢と希望に満ちた地域社会の実現に向けて最善を尽くしてまいります。

未来へつながる安全・安心の 区民生活を実現する

主な新規・ 拡充事業

未来を担う人づくり



- 家庭教育の充実**
- 児童相談所の建設(新)** 17億2140万円
32年度の開設に向け、建設工事を進めます。
- 子どもの食の支援(拡)** 1356万円
食の支援が必要な家庭を対象に、ボランティアを派遣し、買い物から調理まで行う「食事支援ボランティア派遣『〜できたて食べてね〜おうち食堂』と、仕出し弁当組合がお弁当を自宅に配達する「子ども配食サービス『KODOMOごはん便』」の機能を強化します。
- 子どもの居場所「eーりびんぐ」(拡)** 2932万円
小学～高校生を対象に、安心して過ごせる場所を提供する事業の開所日を週6日に拡大します。
- ひとり親家庭の学習支援(拡)** 3957万円
児童扶養手当などを受給している家庭の小学5年～高校生を対象に行っている学習支援の対象人数を拡大します。
- 養育支援(拡)** 6370万円
施設や協力家庭での子どもショートステイを実施するとともに、育児支援ヘルパーの対象児童の年齢を拡大し、自己負担を廃止します。

- 地域での次代を担う人づくり**
- イングリッシュ・デイ、イングリッシュ・キャンプ(拡)** 100万円
各共育プラザで、より身近で気軽な国際交流を行うイングリッシュ・デイや、東北大学国際会計政策大学院の協力のもと大学院校舎(旧平井二小)でイングリッシュ・キャンプを実施します。
- 多様な保育サービスの提供**
- 私立幼稚園教諭処遇改善補助(新)** 7080万円
教員の資質向上と優秀な人材の確保により、私立幼稚園の教育力をさらに高めるため、区独自に処遇改善経費を補助します。
- 企業主導型保育助成(新)** 1422万円
ワーク・ライフ・バランスを推進する企業主導型保育事業を促進するため、保育士の処遇改善経費などを補助します。
- 私立保育園等への保育委託(拡)** 138億4421万円
30年度新設の16園と区立保育園の民営化1園を加えた私立保育園76園に対して、運営に必要な経費を支給し、保育の需要増に対応します。
- 私立保育園等施設整備助成(拡)** 37億7868万円
31年度の開設に向け、認可保育園11園、小規模保育所7園の施設建設・改修費、開設準備経費などを助成し、1000人規模の定員拡大を図ります。
- 認定こども園助成(拡)** 9199万円
国の基準を上回る保育士配置のための補助を新たにを行うほか、保育の質を高める取り組みに対する補助を行います。
- 地域型保育事業助成(拡)** 9億1869万円
30年度新設の2園を加えた小規模保育所14園と事業所内保育所2園に対して、運営に必要な経費を支給し、保育の需要増に対応します。
- 保育従事職員宿舍借り上げ支援(拡)** 4億4944万円
保育士などに住居の借り上げを行う事業者に対する補助について、企業主導型保育事業を対象に

- 追加します。
- 保育士等就職祝品(拡)** 2155万円
区内私立保育施設に採用された常勤保育士などに区内共通商品券5万円分を支給します。
- 江戸川区子ども・子育て支援事業計画(第2期)策定調査(拡)** 400万円
就学前児童の教育・保育施設の利用に関する二一調査や人口推計を行います。
- 保育ママ助成(拡)** 4億8103万円
就労などで養育が難しい乳児を、家庭的な環境の中で保育する保育ママに対する補助について、冷暖房に係る環境整備費を加算します。
- 21世紀にふさわしい学校教育の推進**
- 就学援助(新入学準備金)の前倒しおよび単価改定(拡)** 2億432万円
小・中学校への入学予定者に支給する新入学準備金の支給時期を入学前の3月に変更し、単価を改定します。
- 学校図書館支援(拡)** 1895万円
学校司書を小学校18校、中学校8校に1年間、週1回派遣し、学校図書館の環境整備を促進します。
- スクールソーシャルワーカーの拡充(拡)** 2472万円
スクールソーシャルワーカーの増員を図り、医療・福祉などとの連携を強化して、問題を抱える児童・生徒の支援を行います。
- 小・中学校の特別教室空調機器設置(拡)** 1億7986万円
小学校の特別教室全てに空調機器を設置し、中学校は31年度の設置に向けて設計を実施します。
- 学校施設の改築(拡)** 40億4571万円
老朽化した学校を計画的に改築していきます。
- 教職員のストレスチェック(拡)** 987万円
区立幼稚園、小・中学校を統括する安全衛生委員会を設置し、教職員を対象にストレスチェックを実施し、セルフケアを促進します。

- EDOGAWA 美味 NAVI(拡)** 679万円
訪日観光客の区内消費を促進するため、区内の飲食店などを英語で紹介するインターネット動画を配信するとともに、国内外に対して番組をPRするプロモーション動画を作成します。
- 都市農業の継承**
- GAP 認証取得の支援(新)** 200万円
東京2020大会への食材提供に必要な GAP(農業生産工程管理) 認証の取得にあたり、必要な設備改善費用を補助します。

- 地域の魅力を高めるまちづくり**
- 町会・自治会、商店街の防犯カメラ設置補助(拡)** 4678万円
地域の安全を見守る防犯カメラについて、11団体・129台の設置を支援します。
- 街区表示板・地域案内板のローマ字併記(拡)** 548万円
訪日観光客にも分かりやすい表記を進めます。
- 安全で災害に強いまちづくり**
- 木造住宅除却費用助成(新)** 2716万円
コンサルタント派遣で耐震性が不十分と判定された木造住宅の除却費用を助成します。
- 空き家耐震化助成(新)** 1915万円
耐震化助成の対象に空き家を加え、コンサルタント派遣から工事実施を促進します。
- 江東5区広域避難の推進(拡)** 992万円
「江東5区広域避難行動計画」を策定するとともに、江東5区大規模水害ハザードマップを作成し、広域避難推進シンポジウムを開催します。
- 江戸川区ハザードマップの改訂(拡)** 3796万円
江戸川区水害ハザードマップ策定委員会での検討を踏まえ、各河川の洪水や高潮を想定した避難の時間や方向を明示します。

いきいきとした生活のための 健康・福祉の社会づくり



- 生活習慣病と健康**
- 国民健康保険料の負担緩和(新)** 20億1796万円
国民健康保険料の負担を緩和します。
- 口腔ケア健診(新)** 3777万円
75歳以上の方を対象に、口腔機能の低下や誤嚥性肺炎などの疾病予防を行います。
- 健康ポイントを活用した健康づくり(新)** 28万円
区内企業・団体の協賛を得て、子育て世代の団体による健康づくりの取り組みに応じてポイントを付与し、表彰の上、副賞を贈呈します。
- 産後ケア(拡)** 478万円
通所型を新設し、育児不安の軽減、母体の休養、児童虐待の未然防止に取り組みます。
- 幼児・学齢期の歯科健康教育(拡)** 58万円
幼児期については全区立保育園での健康教育の実施や未受診者対応マニュアルの作成支援を行い、学齢期については小・中学校での未受診者対応や学校歯科保健で活用できるDVDを作成します。
- 保険料収納率の向上対策(拡)** 1億4506万円
催告書の期別発送などにより保険料収納率の向上を図ります。
- 心の健康づくり**
- 精神障害者の社会復帰支援(拡)** 2億8773万円
措置入院者の退院後支援などの困難事例に対応するため、個別支援を強化するとともに、精神障害者支援地域協議会を設置し、個別ケース検討会議を踏まえ、退院後支援計画を作成します。
- いのちを支えるプロジェクト(拡)** 814万円
自殺対策計画に基づく事業を推進します。また、医師などによる支援会議を通じて対応を検討し、早期問題解決に向けた自殺未遂者支援と、全区立小・中学校での SOS の出し方教育を行います。
- 生涯スポーツの推進**
- Game Changer プロジェクト(新)** 133万円
オランダのパラアスリートやコーチによるスポーツ教室などを通じて、パラスポーツのさらなる振興を図ります。
- パラスポ「アニメ」官学連携プロジェクト(新)** 85万円
パラスポーツの魅力を分かりやすく伝えるため、区内の専門学校と連携し、オリジナルストーリーのマンガやパラリンピック22種目のイラストを作ります。
- パラバドミントン応援プロジェクト(新)** 111万円
区内に専用練習場のあるパラバドミントンについて、競技体験会などを通じて、わがまち競技として応援する気運を高めていきます。

学びと協働による 区民文化づくり

- 江戸川区の良さを活かした
ボランティア活動とコミュニティ活動**
- ホストタウン(オランダ)事業(新)** 44万円
講習会やチューリッププロジェクトなどオランダを知る機会を通じて、気運醸成につなげます。
- えどがわの魅力発見! 発信!! ~地域活性 産学公連携プロジェクト~(新)** 30万円
東京2020大会に向けて、高校・バス運行事業者と連携して区の魅力をPRするバスのラッピング制作を支援します。

- 出前パラスポ体験!(新)** 65万円
ルールを簡略化したパラスポーツの体験教室を、障害者施設などで実施します。
- 江戸川パラスポアンバサダー(新)** 120万円
区独自に育成した初級障がい者スポーツ指導員を「江戸川パラスポアンバサダー」として登録し、パラスポーツイベントなどの運営に参画します。
- えどがわSPORTSプログラム2018(新)** 81万円
東京2020大会の気運醸成のため、区内で開催するオリリンピック・パラリンピック関連競技の情報を集約・提供し、スポーツ参加の促進を図ります。
- ラグビーワールドカップ2019 TRY プロジェクト(新)** 67万円
ラグビーワールドカップ2019に向けた気運醸成を図り、区民のスポーツ参加を促します。
- 新左近川親水公園水上スポーツ施設整備(新)** 1億3551万円
豊かな水辺環境を活かし、水上スポーツが盛んになるようカヌー場を整備します。
- 知的障害者(児)スポーツ教室(拡)** 141万円
学齢期以外の障害者を対象に、軽運動教室を実施します。
- 感染症と健康危機への対応**
- 性感染症健康相談(拡)** 358万円
HIV 検査に加え、梅毒検査を新たに行います。
- 飼い主のいない猫対策支援(拡)** 995万円
飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用の一部を助成します。
- 食と住の安全性**
- 住宅宿泊事業(民泊)の監視指導(新)** 17万円
インターネットを活用した届け出・報告の受け付けや、標識の発行、監視を行います。
- 高齢の人々の生きがいと健康**
- くすのきクラブ運営費助成(拡)** 252万円
くすのきクラブ連合会のスポーツ活動に対し、新たに助成します。
- 高齢の人々の生活支援**
- 小規模多機能型居宅介護の整備促進(新)** 348万円
未整備地区2園域の事業者公募にあたり、開設後1年に限り運営費を補助します。
- 介護人材採用力強化セミナー(新)** 125万円
介護事業者が求める人材を適切に確保できるよう、採用活動の強化や離職防止のためのセミナーを開催します。
- 口腔ケア健診(新)** 3305万円
65~74歳の方を対象に、口腔機能の低下や誤嚥性肺炎などの疾病予防を行います。
- 高齢者虐待防止リーフレット(拡)** 31万円
高齢者虐待の理解促進のため、一般区民向けのリーフレットを作成します。
- 福祉美容サービス美容券料金改定(拡)** 769万円
60歳以上で要介護4・5の在宅者を対象とした出張美容券の単価を、理容券と同額の5000円に改定します。また、自己負担額を500円に改定します。
- 高齢者虐待対応のためのケア会議の充実(拡)** 54万円
高齢者の虐待に的確に対応するため、臨床心理士や弁護士などの専門家を交えたケア会議を実施します。
- にこにこ運動教室(拡)** 245万円
介護予防のため、くつろぎの家で実施している

- 区民との協働による東京2020大会の気運醸成(拡)** 529万円
江戸川区オリンピック・パラリンピック区民連絡会や若者によるアイデア検討会など、区民とともに気運醸成を図ります。
- 新川さくら館の運営(拡)** 4234万円
地域力を活かし、新川沿川のさらなるにぎわいづくりに取り組みます。
- 創造性豊かな江戸川文化
多文化共生の推進(拡)** 139万円
有識者などによる策定委員会で「江戸川区多文化共生指針」の策定を進めるとともに、多文化共生交流イベントを開催します。

- 音楽や脳トレーニング、有酸素運動などを取り入れた運動を、なごみの家8カ所でも実施します。
- 認知症初期集中支援チーム(拡)** 884万円
認知症支援コーディネーターを中心に複数の専門職によるチームで、認知症と思われる方へ訪問などの初期支援を包括的に実施します。
- 障害のある人々の生活支援**
- 葛西南部地域に育成室を開設(新)** 3453万円
発達障害に特化した育成室を開設します。
- 発達相談・支援センターの設計(新)** 1485万円
31年度中の開設に向け、発達障害相談センターと本区初の福祉型児童発達支援センターの機能を併せ持つ施設の設計委託を進めます。
- ことばの相談(新)** 33万円
発達障害相談センターにおいて、言語聴覚士による吃音、発音などの相談を実施します。
- 篠崎育成室の定員増(拡)** 1億4567万円
定員を55人に拡大します。
- 自立支援給付(拡)** 103億4298万円
自立生活援助と就労定着支援を新たに行います。
- 障害児支援給付(拡)** 31億2682万円
居宅訪問型児童発達支援を新たに行います。
- 福祉美容サービス美容券料金改定(拡)** 979万円
重度心身障害者手当または特別障害者手当を受けている方を対象とした出張美容券の単価を、理容券と同額の5000円に改定します。また、自己負担額を500円に改定します。
- 「発達障害」理解促進リーフレット(拡)** 94万円
中学生とその保護者を対象に、気付きを促すリーフレットの作成および配布を行います。
- 福祉のまちづくり**
- 地域包括ケアシステムの充実(拡)** 2億9441万円
住み慣れた地域で安心して暮らすための身近な地域拠点である「なごみの家」を、30年度に新たに4カ所整備するとともに、マンションや団地などの集合住宅の高齢化に伴う見守りや生活支援に向けた互助活動立ち上げなどの支援を行います。
- 生活の安定**
- 生活保護受給者の就労準備支援(新)** 552万円
就労に必要な支援を行います。
- 生活保護世帯の高校生進路支援プログラム(拡)** 661万円
予備校の受講料や大学受験料を支援します。
- 生活保護受給の熟年者世帯などへの緊急通報システム設置(拡)** 749万円
安全・安心な生活環境の向上を図るため、生活保護を受給する単身の熟年者世帯などに民間緊急通報システムを設置します。
- ひきこもり相談会・新たな居場所づくり(拡)** 712万円
支援策の周知や相談会などを通じて、ひきこもりに悩む家庭の孤立化を防ぎます。

区民参加による環境づくり

- ごみの減量と資源リサイクル**
- 災害廃棄物処理計画の策定(新)** 12万円
災害時の生活環境を保全し、早期の復旧・復興を目的に計画を策定します。
- 食べきり推進運動(拡)** 120万円
食品ロスを削減するため、食べきりレシピを公募し、レシピカードを作成するとともに、男性を対象に食べきりレシピを活用した弁当調理教室を行います。

区民本位の区政運営を推進

- 葛西沖開発の記録(新)** 324万円
380ヘクタールに及ぶ葛西沖の開発について、これまでの経緯を後年に残していくための冊子を制作します。
- 人権啓発窓口対応指針作成(拡)** 3万円
課題別のガイドラインを順次策定し、より人権に配慮した窓口対応を推進します。

活力を創造する産業づくり

- ものづくり産業の活性化**
- 6010金士公連携プログラム(新)** 279万円
事業承継など経営課題を抱える中小企業者を対象に企業カルテを作成し、地域金融機関・専門家・支援機関などと連携して課題解決を支援するとともに、必要な融資に対して利子補給を実施します。
- ものづくり産業の販路拡大支援(拡)** 830万円
中小企業の国内外展示会出展に対する助成を拡

区民の暮らしを かづよく支えるまちづくり



- 都市基盤の充実・質の向上**
- 平井五丁目駅前地区市街地再開発(拡)** 2億9290万円
市街地再開発事業により建物の不燃化や耐震化を図るとともに、商業地のにぎわいを創出するために安全・安心な歩行空間を確保し、駅前商業拠点としての魅力と価値の向上を図ります。

- まちづくり推進地区の検討(拡)** 881万円
土地区画整理事業を施行すべき区域以外で、道路幅員が狭く住宅が密集している危険性の高い箇所を調査し、整備の方向性や方策を検討します。
- 利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備**
- 瑞江大橋の架け替えに向けた予備設計(新)** 2995万円
34年度からの工事に向け、予備設計・地質調査・現況測量を実施します。
- 京成本線連続立体交差事業まちづくりの検討(拡)** 958万円
連続立体交差事業とともに京成小岩駅周辺のまちづくりを進めるため、駅前広場や共同化区域を検討します。
- 今井街道電線類地中化(拡)** 8671万円
松江大通りの電線類地中化に向けた他企業の既設管路の撤去および詳細設計委託を行うとともに、松江通りの地中化に向けた現況測量を実施します。
- 電動アシスト付きレンタサイクルの配車拡大(拡)** 357万円
葛西地区に加え、都営新宿線4駅のレンタサイクルに電動アシスト付き自転車を配備します。

※金額は、表示単位未満を四捨五入しています。

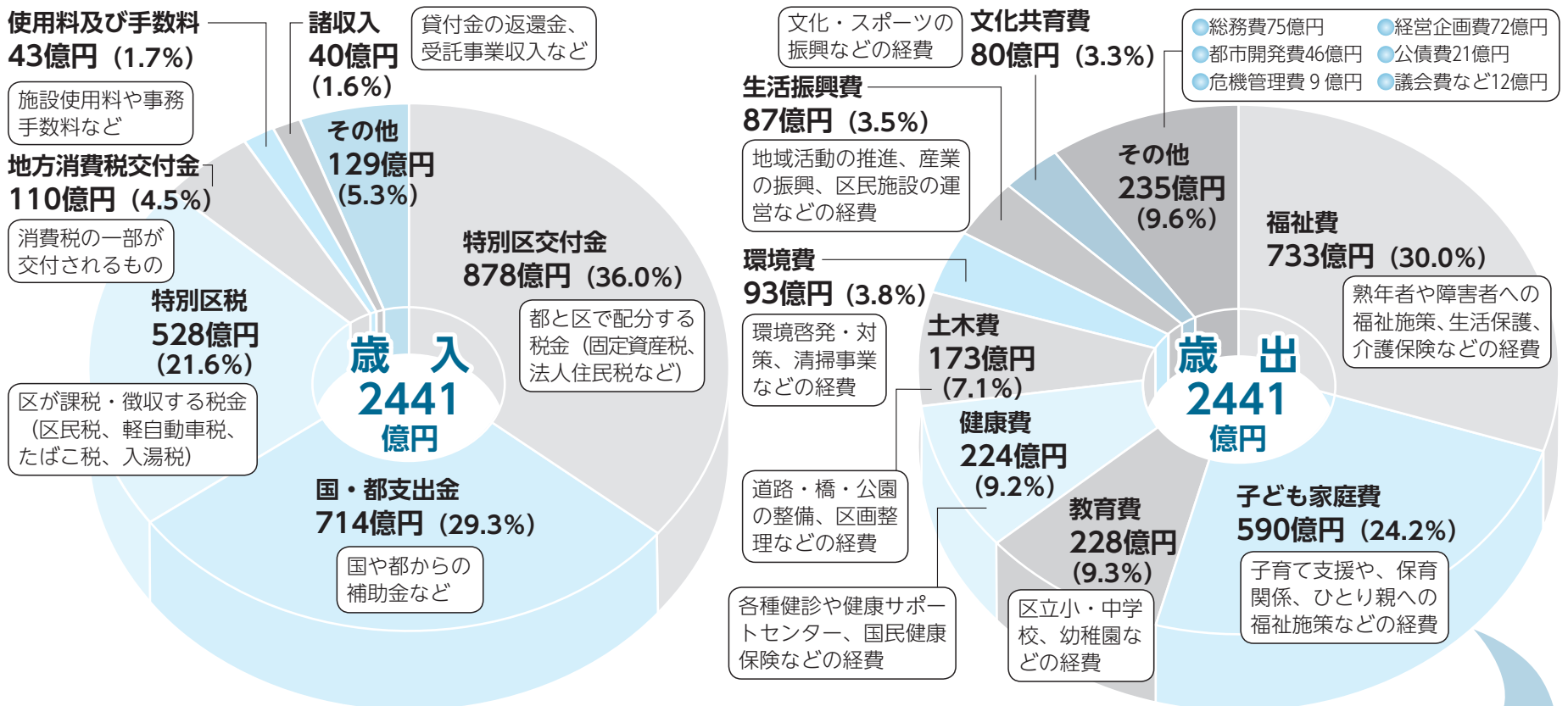
数字で見る 平成30年度予算

区では、区民の皆さんの税金や国・都からの交付金などを財源として、区民生活に直結するさまざまな施策を行っています。限られた貴重な財源を、区民サービス向上のため、有効かつ適切に活用していきます。

問 財政課 ☎5662-6148

一般会計の内訳

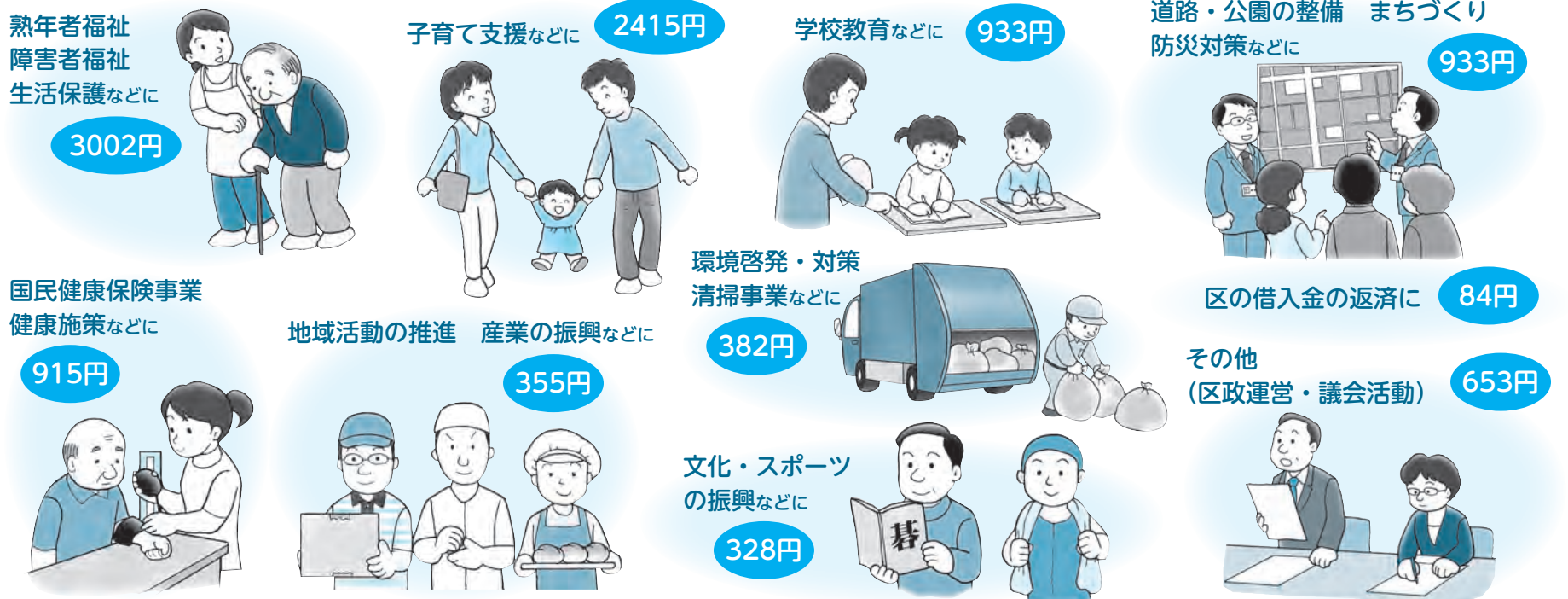
※金額は原則、表示単位未満を四捨五入しているため、合計などと一致しないことがあります、構成比は千円単位での比率です。



歳出の性質別内訳



一般会計予算額を1万円に換算すると・・・



**特別区全体で
約1300億円の減収!**
国の不合理な税源偏在是正措置が
特別区の財政を大きく圧迫しています

国は「法人住民税法人税割の一部国税化」、「地方消費税清算基準の見直し」、「ふるさと納税」など、都市部の税収を吸い上げて地方への配分を進めています。特別区長会は区民サービスを守るため、23区共同でこれらの税源偏在是正措置に対して緊急声明を発表しました。詳しくは、特別区長会および区ホームページでご覧になれます。

問 財政課 ☎5662-6148